

# 草の根活動 交流NEWS

第729号  
2025年4月12日  
会員数158万3382人  
読者数4733人

消費税をなくす全国の会  
〒114-0023  
東京都北区滝野川3-3-1-201  
電話03-3940-0401  
FAX03-3949-9885  
Eメール snzk90@horae.dti.ne.jp

## 2カ月間で143人の読者拡大 5千人読者への峰 大きく切り開く

「5千人読者大作戦」の取り組み、お疲れさまでした。全国の大奮闘で2月、3月の2カ月期間で143人の読者が増えました。100人を大きく上回る読者を増やしたのは十数年ぶりのことです。見本誌を活用して地域の仲間への声かけ、地域の会の活動強化・再開と結び付けての拡大行動が広がりました。引き続き、5千人読者の峰を築くため、全ての県の会の取り組みを呼びかけます。

## 値上げラッシュが止まらない！ 消費税減税は待たなし



4月1日、消費税が導入されてから36年。各地で怒りの宣伝行動が取られました。コメの高騰が続き、食品などの値上げラッシュが止まりません。4月、値上げされる食品は4225品目に上り、おとし10月以来、1年半ぶりに4千品目を超えました。夏にかけて断続的な値上げラッシュが見込まれています。

国会では小池晃参院議員の追及で、「消費税を5%減税で1世帯12万円の手取り増える」ことが明らかになりました。消費税減税は切実な願いです。

## 消費税導入から36年 各地で怒りの行動 雪交じりの雨の中宣伝

福島県の会は4月1日、真冬に戻った寒さと雪交じりの雨が降る中、福島市内で「消費税実施から36年、4.1怒りの行動」を実施し、6人が参加。共産党宮本しづえ県議、福島県の会服部雅務局長が、「消費



税導入から36年、経済とくらしを壊してきた悪税は廃止しかありません。消費税導入後、経済とくらしは悪化し社会保障は連続改悪。消費税減税で負担能力に応じた税制を実現し、安心して暮らせる社会にしましょう」と訴え。7分咲のさくらの花木30本を市民に渡

### 福島の会

しながら署名を訴えると、2人から署名が寄せられました。

## 物価高対策は消費税減税が一番 熊本の会

熊本の会は4月1日、熊本市内下通り商店街で宣伝。20人が参加し、23人の署名が集まりました。熊本の会の西川悦子事務局長が「物



価高が続いています。今日4月1日から食料品4225品目が値上げされます。もう暮らしていけませ

ん。物価高対策は消費税減税が一番」と訴えました。

## 消費税に頼らない税制に変えよう

### 富山の会

富山県の会と消費税廃止富山県各界連絡会は24日、富山・総曲輪商店街で宣伝しました。なくす会の水谷敏彦代表世話人は「政府は、消費税は社会保障財源と説明しますが、この36年で社会保障

は改悪の連続。病院の窓口負担は1割から3割へ増え、保険料も上がる一方です」「消費税に頼らな



い税制に転換させましょう。大企業や富裕層を優遇する不公平な税制をただし、所得税や法人税を負担能力に応じて集める仕組みに変えれば53兆円を超える税収を生み出すことができると試算されています」と訴え。富山市婦中町に住む女性(81)は「物価が高くちょっと野菜を買っただけで数千円を超えるその分消費税も増える」と話し、富山市内の男性(56)は「主食のコメまで高騰、生活の切り詰めも限界だ」と怒っていました。

## 値上げラッシュ止まらないと訴え

### 青森の会

青森市の会は3月24日、消費税廃止東青各界連絡会の行動に参加。「物価高騰が止まらず、春先に



かけてさらに値上げラッシュが予想されます。物価高対策には消費税減税が最も効果的。消費税減税とインボイス制度の廃止で暮らしを守ろう」と訴えました。行動にはなくす会、青森民商から7人が参加し、

署名を呼びかけました。30分の行動で14人から署名が寄せられました。

## 春休みの学生が署名

### 和歌山の会

和歌山の会は3月24日、和歌山駅前前で署名を訴えました。先に宣伝していた国境なき医師団の人と一緒に宣伝。医師団の人



人も、消費税署名に応じてくれ、和やかに宣伝。この日は、春休みの学生が多く、署名をしてくれました。物価高で収入が増えない中、「消費税を減税してほしい」との声が多く寄せられていました。「消費税減税とインボイス廃止は大きな運動になっている」ことを伝え、世界中で実施している消費税減税を日本でも実現させよう」と呼びかけました。

